



(別紙2)

領収書等添付用紙

会派名

代表者名・議員名 菊池 彰

整理番号	/	支出年月日	4.3.10
費目	広報費	金額	73,073

領 収 書

第 138992-13 号

おなまえ	菊池 彰 様		<領収内訳>	<備考>
受領金額	百万	千	現金 73,073 円	
	円		小切手 円	
	内消費税額 6,643 円		切手 円	
※ 金額欄を訂正しているものは無効です			証紙 円	
			キャッシュレス決済 円	
			(決済ブランド名: )	

		お取引の内容			
郵便	切手・葉書・印紙・販売品の販売	定形(区内)	@ 73 円	x 100 /	(枚・個・錠・件)
	郵便料金の収納		@ 円	x	(枚・個・通・件)
	[ 別納・計器予納金 受取人払 ] [ 着払 その他( ) ]		@ 円	x	(枚・個・通・件)
			@ 円	x	(枚・個・通・件)
			@ 円	x	(枚・個・通・件)
貯金					
保険	保険料の払込み	保険証券(書)の記号番号		払込期間及び払込月数	
				年 月期から	年 月期まで
物販等	店頭販売商品の販売 カタログ販売 その他( )	(申込書番号)			

上記の金額を、確かに領収いたしました。

取扱郵便局 喜木 郵便局

2022 年 3 月 10 日

電話番号 (0894) 36-1000

日本郵便株式会社

(所在地: 東京都千代田区大手町2丁目3番1号)

取扱者氏名

※ 裏面の「ご注意」欄をご確認ください。

第 138992-13 号

備考



(別紙2)

領収書等添付用紙

会派名

代表者名・議員名 菊池 彰

整理番号	2	支出年月日	4.3.11
費目	広報費	金額	105,600
領収書・その他証拠書類 添付欄			

領 収 証

令和 4 年 3 月 11 日

No. \_\_\_\_\_

菊池 彰

様

税込合計金額		¥	105,600	税率	10 %	消費税額	¥	9,600
月	日	内 容 ・ 品 名		数 量	単 価	金 額	摘 要	
3	10	1	リーフレット(4色×4色・コート紙73kg・DM折り)	1,100	30	33,000		
		2	封筒(長3ソフトカラーブルー・スミ1色刷り)	1,100	20	22,000		
		3	封筒宛名印刷	1,100	10	11,000		
		4	デザイン・データ作成			30,000		
		5				-		
		6				-		
		7				-		
		8				-		
合 計						¥	96,000	

上記金額正に領収致しました



いつも心にデザインを

CREATIVE  
**C.ROOM**  
クリエイティブシールーム

〒796-0112 愛媛県八幡浜市保内町須川1059-1  
TEL.FAX:0894-36-3130 代表 梶原 朋



いつもありがとうございます。下記の内容をご連絡いたします。

請求書

令和 4年 3月 10日

菊池 彰 様

No. \_\_\_\_\_



いつも心にデザインを  
CREATIVE  
C.ROOM  
クリエイティブシールーム

〒796-0112 愛媛県八幡浜市保内町須川1059-1  
TEL.FAX:0894-36-3130 代表 梶原 篤

下記のとおり御請求申し上げます

税込合計金額		¥	105,600		税率	10 %	消費税額	¥	9,600
月	日	内容・品名		数量	単価	金額		摘要	
3	10	1	リーフレット(4色×4色・コート紙73kg・DM折り)	1,100	@ 30	33,000			
		//	2 封筒(長3ソフトカラーブルー・スミ1色刷り)	1,100	20	22,000			
		//	3 封筒宛名印刷	1,100	10	11,000			
			4 デザイン・データ作成			30,000			
			5			-			
			6			-			
			7			-			
			8			-			
		合 計				¥	96,000		





# 菊池 彰からのご報告

発行日 令和4年3月10日 発行元 菊池あきら後援会  
〒796-0170 八幡浜市日土町6-709  
TEL0894-26-0516

昨年7月25日市議会議員選挙が公示され、無投票で再選されました。

『正直に誠実にまっすぐに』を信条として、2期目も市民の方々の為に、しっかりと働きます。

市議会議員選挙が無投票になったのは市政執行後、初めての事であります。

無投票になった事の意味を真摯に受け止めて、声なき声に耳を傾けて活動しなければと自分自身に言い聞かせています。

平成30年7月豪雨災害後の臨時議会の流会や市長・市議同日選実施の議案が否決された事など、市民の期待を裏切った議会であつたと深く受け止めています。

「信頼回復」を念頭において、安心して安全に快適に暮らせる町づくりの為に理事者に提言してまいります。

昨年9月議会で民生文教委員会の委員長に選任されました。

市民福祉部（市民課・保内庁舎管理課・生活環境課・社会福祉課・子育て支援課・保健センター・人権啓発課）教育委員会・市立八幡浜総合病院を所管しています。

提出議案を審査して本会議で委員長報告をし、議会としての最終議決を致します。

委員長として委員会運営に最善を尽くします。

さて、コロナ禍での不自由な生活が2年以上続いています。

現在もオミクロン株の蔓延で先が見通せない状況です。いつ日常が取り戻せるのか予測は出来ませんが、救済措置や支援の拡充に理事者に提言、要望をしています。

一日も早く平穏な日々が戻る事を願っています。

一般質問した事を、全てを掲載出来なくて十分な報告書にはなっていないですが、ご一読頂ければ幸いです。

## 防災関連について

市民の防災に対する意識を、より効果的に高め、住民同士で地域の問題点を話し合い、しっかりと情報を共有する為に、地図を使って防災対策を検討する訓練DIGを実施してはどうか。また、大きな災害が発生して多数の避難者が殺到した場合、想定通りに避難所の運営が出来るのか、シミュレーションが必要と思われる。避難所運営ゲームHUGで様々な出来事にどう対応していくか、防災士を中心とした地域住民の方々に、学ぶ機会を提供する事も重要と思うが、考えを伺う。

災害図上訓練DIGは住んでいる地域の地図を囲み、どこに危険があり、どこへ避難するかなど、地図に情報を直接書き込みながら行う訓練で、様々な効果があると考えている。避難所運営ゲームHUGは、住民自らが避難所を運営するシミュレーションゲームが出来る為、大変有効である。平成29年度にHUGを4セット購入して貸し出しを行い、要請があれば職員を派遣して訓練の補助を実施してきた。今後はコロナの感染状況を踏まえて、活用方法について関係機関と連携して検討していきたい。

## コロナ禍における支援の成果と施策について

**問** 中小企業・漁業・交通事業者・観光宿泊業・時短協力店への補助金を交付した結果、地域経済は復活の兆しが見えているのか伺う。

**答** 新型コロナウイルスが収束していない中であるので、兆しは不透明で明確なものとはなっていない。しかし補助金等の支援策は、それぞれの事業継続に繋がっているものと考えている。ワクチン接種が進んだ段階で、様々な需要が回復するのではと期待している。

**問** 県外に在住している大学生等の支援については、昨年9月議会で質問したが、帰省の制限や自粛要請など困難な状況が続いている。ふるさととして何か支援が出来るものか改めて伺う。

**答** 市が実施主体になるものではないが、社会福祉協議会において、協議会が運営しているフードバンクへ寄せられた食料品、さらには市の特産品を詰め込んだものを、ふるさと小包として当市出身の大学生等に届ける取り組みが、今年度初めて実施予定である。年度内に3回程度実施予定であり、市としてはウィズコロナが広がる市民応援補助金を通じて支援する考えである。

※社会福祉協議会より2回、ふるさと小包が発送されました。

## 食品ロスについて

**問** 農林水産省・環境省の2018年の推計では、日本の食品ロス量は643万トン、国民一人当たりの食品ロスは1日130g、年間47kgとのことである。昨年度における愛媛県全体での食品廃棄物は19・5万トン、その内5.1万トンが食品ロス量と推測されている。令和5年度には10%削減の46万トンを目指しているとの事である。当市における昨年度の食料廃棄物・食品ロスの推量はどれくらいか、また併せて削減目標があれば伺う。

**答** 食料廃棄物が4千800トン・食品ロスが1千270トンと推計される。県の削減目標は2025年度までに、2020年度比で10%削減、長期目標として2030年度までに2000年度比で50%以上削減を達成するとしている。当市においても今年度改正予定の一般廃棄物処理基本計画に食品ロスの削減について盛り込みたい。



## 脱炭素社会を目指す為の当市の取り組み方は

**問** 政府の方針として、2030年代半ばには、新車の乗用車販売を全て電気自動車にする計画があるが、当市に於いても環境への配慮から、公用車の更新時期に徐々に

電気自動車を導入していくべきと思うが、考えを伺う。

**答** 国では経済産業省を中心にグリーン成長戦略を策定しており、2030年代半ばには100%を実現できるように包括的な措置を講じるとされている。こうした状況の中、電気自動車リースの話があり、内部で検討したがガソリン車購入と比較して割高であった為、見送った経緯がある。走行距離・充電箇所や充電時間・財源の問題もあり現時点では購入・リースの実績はない。しかし大きな国の方針、近隣自治体の状況、走行距離の延長や車両の値下げ等についても注視しながら検討していきたい。

※令和4年3月議会で電気自動車のリース契約についての予算が計上されました。

**問** 県内に於いては、クリーンエネルギー自動車導入対策補助金や電気自動車充電設備への補助を実施している自治体もある。環境への負荷の少ないエネルギーの利用を促進し、地球温暖化の防止、資源の有効利用を図る為に補助制度を整備する必要があると思うが考えを伺う。

**答** 近年、台風や豪雨などの大災害が頻発に発生しており、災害時の停電に備え、非常用電源の必要性が高まっている。他市に於いても、燃料電池や蓄電池の設置費用に対する補助金が多く、今後、電気エネルギーを貯める設備について、補助金制度の導入を検討していきたい。

**問** 現在第3次八幡浜市温暖化対策を実施中であるが、2050年カーボンニュートラルに向けての行政の取り組み、企業の取り組みへの支援、市民のライフスタイルへの提言が必要と思うが考えを伺う。

**答** 冷暖房の温度管理やクールビズ・ウォームビズを実施し、こまめな消灯も行い節電を心掛けている。また3R、リデュース・リユース・リサイクルを推進して、ゴミの再資源化率を高め、CO2の排出削減に努める。今後、企業や市民の方へも波及するよう啓発を行い、長期目標であるカーボンニュートラルの実現を目指し取り組みを行う。



## 道の駅・みなとオアシス八幡浜「みなと」のさらなる利便性の向上について

**問** 前回の一般質問で、「みなと」の充電ステーションの設置について要望したが、今までに検討された経緯、今後の見通しについて伺う。

**答** 設置コストや維持管理費を考慮して、実績のある民間業者による設置を検討して

いた。しかし、事業者が充電ステーション事業を取り止めたため、令和2年度の設置は断念した所である。今後、電気自動車の普及は更に進むと想定されるので、民間事業者だけでなく、公設での設置も含め導入に向けて検討したい。

**問** 快適に使用出来る授乳室があれば、「みなと」のさらなるイメージアップ、利便性の向上に繋がると思うが考えを伺う。

**答** 授乳室の設置については、みなと交流館内部の設置を基本として考えているが、現在の会議室等の利用状況を考慮すると、転用して常設することは難しい。子育て世代が多く訪れる「みなと」には必要な施設であることは十分認識している。今後、現在のフェリー乗り場の跡地利用に併せて、全体の設備を改善する中で検討したい。

※令和4年3月議会に「みなと交流館」内部を改修して、授乳室設置の予算が計上されました。

## 公共施設のトイレの洋式化について

**問** 公共施設全体の水洗トイレの個数と洋式化率、また八幡浜庁舎、保内庁舎の個数と洋式化率並びに改修工事の実績・今後の計画について伺う。

**答** 市庁舎、小・中学校、幼稚園・保育所、社会体育施設、公民館、市立八幡浜総合病

院、図書館、公園等で1443個あり、このうち980個が洋式であり、洋式化率は67.9%である。八幡浜庁舎は61個中、30個が洋式であり、洋式化率は49.2%である。保内庁舎は19個中、8個が洋式であり、洋式化率は42.1%である。八幡浜庁舎では平成25年度に6階西側に2個を、29年度には多くの市民が利用する5階に6個を、30年度には3・4階で8個を洋式化する改修工事を実施している。保内庁舎では令和元年度に市民が利用する西側各階に、1個は洋式になるように改修工事を実施している。和式を洋式に替える場合、空間を取る必要がある。個数が減ってしまう問題がある。また障害のある方への対応も重要であり、様々な視点で庁舎内のトイレについて今後検討していきたい。

**問** 小中学校のトイレの洋式化の現状と今後の計画について

**答** 小中学校合わせて510個、うち洋式トイレが303個で洋式化率は59%となっている。洋式化の進捗状況については耐震化と併せて大規模改修を行った所では全て洋式トイレになっている。改修する時以外については、毎年小学校2校・中学校1校に2個ずつ洋式トイレに取り替えている。令和3年3月末で県下11市の洋式トイレの進捗状況は平均で46%である。八幡浜市は県下で一番高い進捗状況であり、今後も他市の状況を見て、適宜洋式トイレ化を推進して行く予定である。

# 子供の命を守る通学路の安全対策について

**問** 6月に千葉県八街市で下校中の小学生の列にトラックが突っ込み、5人の児童が死傷する痛ましい交通事故が発生した。通学路の危険箇所の点検や、児童・生徒への交通指導について伺う。

**答** 平成26年度に通学路安全対策協議会を設置しており、通学路の安全確保に向けて関係機関が連携した取り組みを実施している。

9名で構成しており各学校から出された危険箇所について、現場に行つてどの部署が対応するか協議している。令和3年度は24箇所の危険箇所を抽出し、8月上旬に合同点検を実施して現在対策を進めている。交通指導については毎年4月に各学校で、交通安全教室・自転車教室を実施している。交通安全教室では、ビデオや講和による交通安全ルールを学んだ後に、校区に出て歩行訓練を行っている。自転車教室ではルールとマナー、点検方法の説明を受けた後に、模擬道路を使用して安全な走行方法を学ぶと共に、他の人々への配慮の大切さを指導している。



# コロナ禍での施策について

**問** 飲食店を支えるための八幡浜市プレミアム付飲食券(やわたしはま食うぽん券)が第1弾30,000冊・追加5,000冊が販売されて、8月末まで使用する事が出来た。終息のめどが立たない不安の中で、生活は人々の心身のみならず、社会全体を疲弊させる感じが有り、市民の方からまだまだ救済措置を求める声を多く聞く。食うぽん券事業第2弾が必要と思うが考えを伺う。

**答** 今回のプレミアム付飲食券事業(やわたしはま食うぽん券)は飲食店はじめ市民の皆様は大変好評であったと認識している。第2弾については、ワクチン接種の状況やコロナの感染状況を踏まえ、市中の様子も見ながら、ある段階で実施していきたいと考えている。



# 要望

食うぽん券発行については、未定ではあるが確率としては高いと受け止めている。支え合い、助け合い、寄り添いながら市民の方々の期待にこれからもしっかりと答えを出して、コロナ禍での経済対策をお願いする。

●わくわく券(約500の事業所で使用出来る)が12月1日より6万冊発行され、完売しました。2月末までに最大で4億5千万の購買に結び付き、地域経済を支える一助になると期待しています。

# 順守します

議員の寄附行為や  
当選お礼のあいさつ行為  
年賀状等の時候のあいさつ状を出す事は、  
公職選挙法で禁止されています。





料金別納  
郵便

郵便区内特別



決して  
あきは、あきらめない!  
わたしたちを取り巻くいろいろな問題の解決  
みんなが健康で、夢の持てる八幡浜

菊池 彰

菊池あきら後援会

事務所 ● 八幡浜市日土町6-709 TEL0894-26-0516